

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

スマートフォンやデジタル・コンテンツをはじめとする情報産業は、通常の財・サービスとは異なるネットワークの経済的特性を有し、私たちの生活に浸透しているだけでなく、経済分析の対象としても興味深い領域である。本ゼミナールの3年次では、産業組織論のツールを使い、情報産業を対象とした経済分析を行う。情報は現代社会にとって切り離すことができないものであり、情報産業を狭義にとらえるのではなく、ビジネス・エコノミー全般を対象とする。

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

産業組織論の入門書である Don E. Waldman and Elizabeth J. Jensen (2001)*Industrial Organization*, second edition, Addison Wesley Longman を輪読する。英語の文献に慣れること、産業組織論の基本を身に着けることが、外国語研究の目的である。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

3年次の4月から5月では、情報産業やコンテンツ等に関する論文を輪読する。6月から7月では、情報産業に関係するテーマをメンバーの話し合いで決定し、全員で論文を作成し、『政経セミナー』に投稿する。さらに、論文内容をプレゼンテーション資料にまとめ、10月のゼミナール発表会で発表する。10月下旬から11月は輪読を継続し、12月以降は卒業論文のテーマ選定、執筆準備にあてる。

3年次では、『政経セミナー』に向けての原稿作成と発表を通じて、メンバーとのコミュニケーション能力と論理的思考能力を磨くこと、文章の書き方や発表の仕方のレベルアップを図ることを主たる目的とする。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

3年次の文献輪読や論文作成をもとに、卒業論文を執筆する。4年次では卒業論文の中間報告、討論及び個別指導という流れとなる。卒業論文のテーマは、各自の興味と関心に基づき決定し、情報産業に対象を限定しない。

## &lt;卒業論文例&gt;

2013年度に開講したゼミナールである。論文テーマは自分の興味、関心に沿って決定することとなるが、これまでのテーマとして、「電子書籍市場の動向と問題点に関する考察」、「NTTドコモの競争優位性」、「コンビニエンス・ストアの競争戦略」、「スマートフォンの高機能化に伴う電気製品市場の変化」、「食品ロスを減らすためのシェアリング・エコノミー」、「電子マネーの将来性と課題」、「標準化活動と企業戦略」、「海賊版の現状と対策」等がある。

## ◆ 応募学生に対する希望

自主性と積極性のある学生を期待する。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：議論への参加の程度、積極性ならびに成果物（政経セミナーの原稿・卒業論文）により総合的に評価する。

外国書研究Ⅰ：発表と議論への参加の程度により総合的に評価する。

外国書研究Ⅱ：発表と議論への参加の程度により総合的に評価する。

研究分野…情報産業の経済分析及び競争政策

募集人数…10名程度

試験方法…身上書（共通フォーマット）と面接により選考する。筆記試験は行わない。

学科指定…なし ただし、ミクロ経済学を履修済であることが望ましい。

関連パッケージ…f 総合経済政策系パッケージ

関連科目…産業組織論、ミクロ経済学、現代経済政策

◆ **ゼミナールの研究テーマ** 日本型企业社会とこれからの働き方/休み方

現在わが国では毎年70万人もの人口減少が続き、社会の持続性が危ぶまれる状態にあります。これは、「男性稼ぎ主モデル」とよばれる日本型ワークライフバランスの機能不全の現象ともいえます。そして高齢化社会の到来、女性就業率の上昇、男性育休取得率の急増という社会の変化からも予想できるように、今の大学生は、企業(賃労働)と家庭(ケアと余暇)の両立という難題に男女問わず必ず向き合うはずで、そこで本ゼミではジェンダーの視座から働き方と休み方のこれからを考えます。ジェンダーというと男対女の二項対立思考にとかく陥りがちです。しかし本ゼミでは、企業や家庭の場で男も女も感じる縛りや生きづらさの根拠を問い、今より自由で、今よりましな生き方を語る場にしたいと考えます。

◆ **研究内容**

## ＜外国書研究＞

授業前半は、論文作成で利用可能な OECD の統計資料を読みます。後半は学生が授業を運営します。これまで映画や英字新聞の映像を使ったエクササイズを行いました。

## ＜卒業論文・3年次＞

「男性稼ぎ主モデル」を支える企業・家庭・制度(税と社会保障)の結びつきを国際比較します。具体例1.これからの働き方－賃労働とケア労働、2.労働力再生産－余暇/休暇と新しい消費行動(コト/イミ消費、シェア/ギフトエコノミー、文化活動)、3.ケアの社会化と地域通貨など。2年生の12月から春休みにかけて数回プレゼミ(土曜日)を行い、4月以降は、テキスト輪読→関連文献リサーチ→ディスカッション→note投稿の流れでゼミを進めます。7月から取り組む共同論文では授業時間外のミーティングや合宿を予定しています。この他サブゼミ的に参加自由の読書会と書籍販売を学生・社会人と行っています(@K\_quartierlatin)。

## ＜卒業論文・4年次＞

自分がこれからどのような社会を生きていくのか?どのような社会が望ましいのか?を考えてテーマを決め、月1～2回の定期報告を通じて卒論を完成させます。

## ＜卒業論文例＞

- 1.労働(ワークライフバランス、雇用制度、共働き)、2.財政金融(地域通貨、ソーシャル・ファイナンス、デジタル通貨)、3.その他(農業とIT、教育格差、アジアの貧困、住宅保障、文化政策)。

◆ **応募学生に対する希望**

応募前に次の3点をよく考えて下さい。1.学習時間を確保し、しっかり取り組むことができるか?→テキスト輪読以外に関連文献リサーチとディスカッション準備、推し本note紹介などがあります。2.グループワーク向きの性格か?→自発的に学生同士頻りに話し合い、各自意欲的に役割を担ってゼミを動かしています。3.研究レベルは合っているか?→『政経セミナー』論文、note([https://note.com/happy\\_marten746/all](https://note.com/happy_marten746/all))、twitter(@satoshiZM\_2019)で確認を。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：出席状況、報告、課題 外国書研究ⅠⅡ：出席状況、報告、課題

研究分野…資本主義経済の研究

募集人数…10名

試験方法…1.身上書、(任意で)推し本紹介、2.面接。\*詳細はnoteまたはtwitterで告知します。

学科指定…なし。政治学科の学生も在籍しています。

関連パッケージ…e,f

関連科目…労働経済学、財政政策、社会保障論、現代日本経済論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

グローバル化が進展するなかで、国内外経済が現在直面する諸問題について理論面から考察・解明する。

◆ **研究内容**

本ゼミナールでは、今日の国内外経済が抱えている諸課題のうち、マクロ経済的問題、ミクロ経済的問題、経済制度に関わる問題の計4テーマを選択し、各テーマについて、リサーチ⇒報告⇒討論⇒レポート⇒ディスカッションといった順序で理論的に考察していく。今まで取り扱ってきたテーマは「日本は財政健全化に舵を切れ」「日本銀行は量的引締めを舵を切れ」「日本は二酸化炭素の排出量取引を導入せよ」「終身雇用と訣別せよ」等で、最終的には英語で討論している。

<外国書研究>

各テーマに関する主要文献や *Wall Street Journal*, *Financial Times* などの最新記事を選択し、配布、講読、議論する。加えて、上記経済紙などを用いて、各自が主要記事を毎週要約し配信することも義務付けている。尚、本ゼミには多数の交換留学生が在籍するため、最低限、外国書研究の時間は使用言語を英語としている。その他、TOEIC 受験を課している。目標は最低800点。

<卒業論文・3年次>

上記過程に加えて、『日本経済新聞』の読解と「マクロ経済学」「ミクロ経済学」の理解を深めることを通して、グローバル化が進展するなかで国内外経済が今日抱える諸問題への理解を深め、かつ報告や討論の仕方、レポート作成術を学ぶ。経済学の知識を高めるべく、経済学検定試験（ERE）の受験も奨励している。目標は最低 A。

<卒業論文・4年次>

卒業論文完成に向けて、研究テーマ発表、中間報告、討論、個別指導を行う。

<卒業論文例>

- 「日本の新陳代謝機能を取り戻せ—外資誘致策による日本経済の活性化—」
- 「少子・高齢化への対策—人口減少社会への適応—」
- 「現代貨幣論にみる財政規律の再考」
- 「温暖化解決に向けて」
- 「女性が働きにくい国、日本—仕事と子育てが両立できる社会とは—」等

◆ **応募学生に対する希望**

幅広く経済に関心を持ち、ゼミ活動に積極的に取り組む意思と熱意のある学生を求めている。ゼミ HP は下記の通り。

<https://sites.google.com/site/takedasemi/>



右は LINE アカウントの QR コード。

志望者は本ゼミ HP から所定の「身上書」をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、指定された要領にて提出すること。

◆ **成績評価方法**

- 卒業論文：卒業論文および演習への貢献度、課題発表、提出レポートをはじめとする総合評価
- 外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、課題発表をはじめとする総合評価
- 外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、課題発表をはじめとする総合評価

研究分野…多様な経済システム間の比較制度分析とグローバル化の中での今後のあるべき日本経済システム

募集人数…12名程度

試験方法…対面による筆記試験（マクロ、ミクロ、時事問題）と面接を予定。英語は TOEIC ないし TOEFL の点数をもって代替する。面接を特に重視する。

学科指定…なし。ただし「マクロ経済学」「ミクロ経済学」を履修済であることが望ましい。

関連パッケージ…d 国際経済系、e 財政・金融系、f 総合経済政策系

関連科目…経済政策原理、近代経済学、国際経済学、開発経済学、国際経済政策、国際金融論、現代日本経済論、金融論、金融政策、財政政策、環境経済学、産業組織論、労働経済学、社会保障論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

来年度の本ゼミナールのテーマは「経済成長と格差」です。日本にはいま、所得格差、資産格差、世代間格差など、様々な格差があり、日本経済に重大な影響を与えています。政府は様々な政策を通してこの問題に対処していますが、まだ十分とは言えない状況です。ゼミのメンバー同士で調査・発表・討論などをしながら、日本の社会が包摂的(inclusive)に成長・発展していくため、経済格差の問題に対しどう向き合うべきかについて考えていきます。

◆ **研究内容**

<外国書研究・原典研究>

経済格差に関する基礎的な英語文献を輪読します。輪読予定文献は、最近の Economist 誌("The pandemic has widened the wealth gap. Should central banks be blamed?" (2020年12月)など) や Wall Street Journal 誌の記事です。

<卒業論文・3年次>

経済格差に関する基本書・研究書を輪読し、その内容に関する発表、問題演習、ディスカッションを通して理解を深めます。その後様々な格差の問題を経済学的知見に基づき分析します。その中で卒業論文テーマ選定の方法などについての助言を行います。

輪読予定文献

1. みずほ総合研究所編 (2017)「データブック 格差で読む日本経済」岩波書店
2. O・ブランチャール編 (2022)「格差と闘え 政府の役割を再検討する」慶應大学出版会

<卒業論文・4年次>

ゼミ生の関心に基づいてテーマを設定し卒業論文の完成をめざします。ゼミにおいては、定期的なスライドなどを用いた進捗状況の報告が求められます。

<卒業論文例>

「経済成長と労使関係」「オタクの経済分析」「ジョン・スチュアート・ミルの経済思想」など

◆ **応募学生に対する希望**

勉強に熱意のある学生を希望します。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：演習への積極的な参加や提出論文に基づく総合評価

外国書研究・原典研究Ⅰ：平常点とレポートに基づく総合評価

外国書研究・原典研究Ⅱ：平常点とレポートに基づく総合評価

研究分野…日本経済論と経済成長論についての分析

募集人数…10名程度

試験方法…身上書に基づく面接（共通フォーマットの身上書を提出してください）

学科指定…無し

関連パッケージ… e 財政・金融系パッケージ f 総合経済政策系パッケージ

関連科目…近代経済学・経済統計学・経済変動論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

理論経済学、経済システム分析

◆ **研究内容**

<外国書研究>

専門演習（外国書研究Ⅰ，Ⅱ）では、経済学や金融の論文・テキスト、世界経済レポートなどを用いています。受講生の英語力・経済学の学力を見て、授業の進度を調整する予定です。

<卒業論文・3年次>

3年次専門演習（卒業論文）では、西村和雄著『ミクロ経済学入門』岩波書店、の輪読を行います。マクロのテーマについては、西村・八木『経済学ベーシックゼミナール』、西村・友田『経済学ゼミナール・上級編』（実務教育出版）を利用します。3年の夏合宿で卒業論文作成に向けたテーマの発表、冬合宿で卒業論文のテーマの確定、1月末の研究発表会で発表を行います。またゼミナール発表会での報告、『政経セミナー』の共同論文作成などに取り組んでいただきます。ゼミナール発表会と『政経セミナー』の研究内容は産業連関表を用いた産業連関分析での共同研究を継続しています。そのほか、国内・海外からの研究者を集めた国際会議を毎年9月に実施していますが、その会議に参加していただきます。

<卒業論文・4年次>

卒業論文の研究課題について指導します。卒業論文のテーマの選択は自由ですが、参考として

- 1) 理論経済学の個別のテーマ「経済成長」「インフレーション」「為替レートの理論」「課税の理論」「消費者行動理論」など著書・論文を選んで進める研究テーマ
- 2) 経済学者、たとえばケインズ、シュンペーター、マーシャル、ワルラス、サミュエルソン、スミス、リカードウ、フィッシャー、など特定の経済学者を取り上げて研究するテーマ、
- 3) 産業連関分析の理論と実証：国、都道府県の産業連関表あるいは国際産業連関表を用いた研究テーマ

などのテーマが過去の多くの卒業論文の例です。途上国の経済や教育の経済学などのテーマもありました。

テーマの絞り込みについては、3年夏ごろからゼミ生の関心を聞いてアドバイスをします。4年では卒業論文に関する研究発表をゼミの時間に行っていただき、報告に基づいて卒業論文の作成や改善をしていきます。

◆ **応募学生に対する希望**

毎週のゼミ及び合宿、『政経セミナー』の共同論文作成、9月国際会議運営に必ず参加してください。卒業論文の作成やゼミでの勉強に積極的に取り組んでいただきます。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：1) 演習での貢献度、2) 合宿での発表、3) 研究報告会報告・卒業論文、等の総合評価。

外国書研究Ⅰ、Ⅱ：1) 演習への貢献度（50%以上）、2) 期末試験、の総合評価

研究分野…理論経済学・経済システム分析

募集人数…6名程度

試験方法…面接、身上書を提出していただきます。

学科指定…なし

関連パッケージ…経済・経済政策総合コースのパッケージで以下のような優先順序を考えています。e 財政・金融系、d 国際経済系、f 総合経済政策系

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

環境経済と環境政策が3・4年の共通テーマです。

ゼミナールの共同研究テーマは3年生全員が担当教員と協議して決定する予定です。

担当者の腹案を例示すれば、「環境にやさしい総合商社は儲かるか」、「環境補助金は環境問題の解決に役立っているか」など。入ゼミ希望者はそれぞれ各自の研究テーマ案を持って参加することが求められます。本年度の個別テーマは、①「日本企業のRE100達成可能性を精査する」②「耕作放棄地の持続可能な再利用策」③「再エネ普及策の地域的最適性を検討する」です。

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

環境経済に関する英文文献の輪読か上記テーマに関する英文文献のグループごとの輪読。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

上記の三つのテーマで共同研究（4-12月）

法政大学経済学部松波淳也教授のゼミナール他との研究発表会（12月）、この間、環境装置の展示会、環境関連の企業（工場）訪問、日本経済新聞社主催のエコプロダクツ展に参加。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

4年次は各自のテーマでの卒業論文準備状況の報告。

## &lt;卒業論文例&gt;

卒業論文の例は当ゼミのホームページを参照してください。

## ◆ 応募学生に対する希望

妥当な理由のない授業や夏季研究合宿の欠席は認めていません。体育会員でもダブルスクールの学生でも欠席せず、他のゼミ員に妨害的でなければ歓迎します。共同研究が中心なのでリーダーシップと各自の責任感・協調性が強く求められます。環境問題だけでなく広く社会問題全般に強い関心があることが「ゼミ持続」の条件です。ゼミ生と共に行っている都市養蜂プロジェクトに協力して下さい。

## ◆ その他

問い合わせについて。ゼミ活動の詳細および担当者に関するより詳細な情報が必要ならば、下記の研究室直通電話（03-3296-2138）メールアドレス（omori@meiji.ac.jp）に問い合わせして下さい。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：論文作成までの努力と最終提出論文の内容とで評価します。

外国書研究Ⅰ：毎週の予習と授業時の発言、授業後のレポートで評価します。

外国書研究Ⅱ：毎週の予習と授業時の発言、授業後のレポートで評価します。

研究分野…環境経済理論、環境経済史、環境経済政策

募集人数…12名前後

試験方法…試験前日に身上書（氏名、連絡先、出身高校、志望動機、希望進路、3年次の共同研究テーマ案、1・2年次のゼミ・演習での成果、環境経済学に関して読んだ文献リスト、自己アピールを記入したA4用紙2枚程度）を作成の上、各上記メールアドレスに添付してください。

試験時間中に「大学に入って何を学んだか」（個人的アルバイト経験などではなく、勉学あるいは社会貢献活動で学んだこと）をテーマに論述してください。

上記を資料とした面接を行います。

学科指定…なし

関連パッケージ…f 総合経済政策系、g 公行政系、h 地域コミュニティ系、i 産業社会系

関連科目…特になし

◆ ゼミナールの研究テーマ

本年度は、「世代の経済学」をテーマにマクロ経済理論とその実証について学びます。年金や医療など社会保障と財政、経済格差、少子高齢化、資産バブルといった重要な経済問題・現象は、異なる時点で生まれて異なるライフステージに立つ多くの世代が共存することから生じます。このゼミでは、世代の経済問題を理論とデータに基づいて議論できるように訓練します。

◆ 研究内容

<外国書研究>

世代重複経済の基礎理論とその応用に関する専門書を輪読します。

Farmer, K. and M. Schelnast, 2021, *Growth and International Trade: An Introduction to the Overlapping Generations Approach*, 2nd ed. Springer.

<卒業論文・3年次>

計量経済学に関する文献を輪読し、統計ソフト R を用いて実証分析の手法を学びます。

西山・新谷・川口・奥井『計量経済学』（2019, 有斐閣）

星野・田中・北川『Rによる実証分析（第2版）：回帰分析から因果分析へ』（2023, オーム社）

また、夏休みから秋学期に共同研究の論文執筆をおこない、世代の経済問題に関する理論・実証分析の訓練をします。基本的なモデル構築やデータハンドリングをこなせるようになります。

<卒論論文・4年次>

各自の関心に基づいてマクロ経済分野で卒業論文のテーマを設定し、卒業論文を完成させます。アプローチは、実証分析と理論分析のどちらでも歓迎します。進捗状況の報告と議論をおこないます。

<卒業論文例>

“Corporate Tax Rates and Economic Growth under Globalization: An Empirical Analysis,”  
「階級的世代重複モデルによる年金分析」、「税収に反応する国債発行ルールを導入した動学分析」

◆ 応募学生に対する希望

ゼミ活動の重要性を認め、ゼミに必ず出席すること。予習の量が多く毎週発表の担当があるので、能力だけでなく根気と積極性を重視します。数学や統計学を地道に学ぶ姿勢が求められます。なお、3・4年次配当科目の「経済変動論」を必修とします。

◆ 成績評価方法

卒業論文：発表・議論・レポート課題・提出論文の内容を総合して評価します。

外国書研究 I・II：同上

研究分野…世代の経済学の理論と実証

募集人数…8名以内

試験方法…面接、課題レポート、成績表

学科指定…なし

関連パッケージ…d 国際経済学系、e 財政・金融系、f 総合経済政策系

関連科目…経済変動論、数理経済学、計量経済学、経済統計学、財政学、金融政策、社会保障論、国際

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

マイクロ経済学、特にゲーム理論を用いて経済現象を分析する。

## ◆ 研究内容

マイクロ経済学とゲーム理論の基礎を習得する。英語やプレゼンテーションをレベルアップする。論文の書き方を習得する。

## &lt;外国書研究&gt;

Maschler, Solan, and Zamir (2020) *Game Theory*. 2nd Edition. Cambridge University Press を輪読する予定。外国書研究に限らず、輪読においては、担当者は報告内容をよく理解した上で、板書をしながら他の受講者にわかりやすく説明すること。単なる翻訳にならないようにすること。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

神取道宏 (2014) 『マイクロ経済学の力』日本評論社を輪読する予定。また、各自の興味ある経済現象を「簡単な」ゲームのモデルで分析し、論文の形にまとめる。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

Maschler, Solan, and Zamir のテキストの輪読を継続しつつ、関連する専門論文も読む予定。各自の興味ある経済現象をゲームのモデルを立てて分析し、卒業論文としてまとめる。

## &lt;卒業論文例&gt;

牛丼価格競争

ダフ屋行為のゲーム理論による分析

通信キャリアの選択におけるスイッチングコストを用いた分析

複占市場における最低価格保証宣言の効果

## ◆ 応募学生に対する希望

数理モデルを立てて、経済現象を分析したい人に向いている。

「数理経済学」を必ず履修して単位を修得すること。専門的にマイクロ経済学やゲーム理論を学ぶためには数学の学習も必要であるが、ゼミナールでは十分に時間が取れない。数学については自分でコツコツ勉強するようにしてもらいたい。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：3年次と4年次の輪読でのパフォーマンス、3年次の論文と4年次の卒業論文の質  
外国書研究Ⅰ：輪読でのパフォーマンスと平常点。テキストに登場する演習問題をレポートとして課す場合もある。

外国書研究Ⅱ：輪読でのパフォーマンスと平常点。テキストに登場する演習問題をレポートとして課す場合もある。

研究分野…一般均衡理論、協力ゲーム理論

詳しい研究成果については、<https://sites.google.com/site/tomokiinoue/> を参照。

募集人数…7名程度

試験方法…筆記試験（マイクロ経済学と数学）および面接。共通フォーマットの身上書を記入して持参すること。

学科指定…無し

関連パッケージ…d 国際経済学系、e 財政・金融系、f 総合経済政策系

関連科目…数理経済学

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

人口に関する諸問題についての実証分析・地域人口分析

◆ **研究内容**

＜外国書研究＞

春学期は社会科学的方法論の実践指南書である Babbie, E. 2015, *The Practice of Social Research, Cengage Learning*. を輪読することで、概念化・操作化、研究計画、質的分析から量的分析まで幅広い分析手法の基礎と実践について学びます。

秋学期は人口学の Rowland, D. T., 2003, *Demographic methods and concepts, Oxford*. を輪読しながら、ワークシートを用いて人口分析を行います。授業は担当者の報告と内容に関する議論、担当者以外の人は内容に関する課題提出という形式で進めます。

＜卒論・3年次＞

春学期は統計学や実証分析に関する書籍を輪読しながら、R、QGIS などのソフトウェアの使い方を学びます。秋学期は人口学に関する主要な書籍や論文を読むことによって、卒業論文に向けた各自テーマの設定を目指します。

また、地域人口分析の一環として「まち・ひと・しごと創生法」に基づく都道府県・市区町村の「地方人口ビジョン」「地方版総合戦略」について1つの自治体を選択し、その内容を報告するとともに将来推計人口に関するシミュレーションに挑戦してもらいます。

＜卒論・4年次＞

卒業論文の完成に向けて、文献研究から研究計画、分析結果などについて報告・議論する形式で進めます。

＜卒業論文例＞

人口の変動要因である出生、死亡、移動に関する事柄はすべて人口であるといっても過言ではなく、就学・就職・結婚・子育て・居住選択・住宅・少子化対策・社会保障などテーマの範囲は広いです。

◆ **応募学生に対する希望**

少子高齢化、未婚化、少子化、長寿化、東京一極集中など人口問題に興味関心がある人を歓迎します。

◆ **成績評価方法**

卒論：演習への参加度、卒業論文に関する報告と内容を総合的に評価

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：演習への参加度、担当部分の報告／課題提出

研究分野…地域人口の変動要因と地域の出生力に関する研究

募集人数…8～12名程度

試験方法…身上書および面接

学科指定…なし

関連パッケージ…c 社会学系 f 総合経済政策系

関連科目…社会科学方法論、社会調査法、統計学、社会保障論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

本ゼミナールの研究テーマは、「経済データの統計分析」である。本ゼミナールでは、経済データの統計分析で広く用いられる手法を、統計・計量ソフトウェアである R と共に学ぶ。具体的には、回帰分析、パネルデータ分析、操作変数法、制限従属変数モデル、時系列モデルである。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

計量経済学の基礎と R の基本的な使い方について英語で学ぶ。以下の教科書を輪読する。  
Heiss, F. (2020) 『Using R for Introductory Econometrics』 Independently Published.  
Wooldridge, J. M. (2019) 『Introductory Econometrics: A Modern Approach』 South-Western College Publishing.

<卒論・3年次>

回帰分析と時系列モデルの基礎について学ぶ。以下の教科書を輪読する。  
沖本竜義 (2010) 『経済・ファイナンスデータの計量時系列分析』 朝倉書店。  
西山慶彦・新谷元嗣・川口大司・奥井亮 (2019) 『計量経済学』 有斐閣。

<卒論・4年次>

ゼミ生が関心を持っているテーマに関連する研究論文を輪読する。そして各自研究テーマを設定し、卒業論文の完成を目指す。

<卒業論文例>

「FRB の金融緩和政策とイールドカーブの分析」

◆ **応募学生に対する希望**

経済データの統計分析に強い関心があり、ゼミに積極的に貢献したいという学生を希望する。「統計学」の単位を取得済みであることが望ましい。また、3年次に「経済統計学」を受講すること。

◆ **成績評価方法**

- 卒論：提出論文と演習での貢献度に基づく総合評価
- 外国書研究 I：毎回の報告と演習での貢献度に基づく総合評価
- 外国書研究 II：毎回の報告と演習での貢献度に基づく総合評価

研究分野…経済データの統計分析

募集人数…10名程度

試験方法…面接（面接時に共通フォーマットの身上書を記入して持参すること）

学科指定…無し

関連パッケージ…d 国際経済系パッケージ、e 財政・金融系パッケージ

関連科目…統計学、経済統計学、計量経済学、マクロ経済学、金融政策

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

財政と地方財政の国際比較を通じて、日本の財政、税制、国債、地方自治制度のもつ特徴について実証研究を行い、課題整理の上、改革案をみんなで考察、提案したい。

日本は、今や一人当たり GDP は先進国平均をかなり下回る。また、総体で GDP 世界第3位といっても、アメリカ、中国を大きく下回る。とはいえ、数字よりも課題に対する問題意識が乏しいことが気になる。少子高齢化、農業の衰退、多様性に乏しく地域格差や男女格差が大きいことを確認し、問題意識を実感するところから始めたい。多くの課題解決には予算と地方自治が必要である。しかし、日本では、ひたすら税負担を嫌うため、少ない予算でのやりくり、国債の大量発行、結果として、分断が生じ、世代、地域、深刻な与野党対立を生むことになっている。少子化だから、高齢化だから、ということで、高齢者と若年層の対立を生んでいる例はもはや悲劇である。

スウェーデンはなぜ、経済、人権、格差の面で世界のトップランナーの一角をなしているのだろうか。消費税25%、所得税の最低税率30%、といった高負担を国民が支持してきたのはなぜか。増税したら経済が悪化するというのは本当なのか。日本人は、我々の税金は高いと思っているけれど、日本は世界でも税金の低い国。それなのに経済が停滞しているのはなぜか？

◆ **研究内容**

<外国書研究>

OECD 統計など、世界の統計資料を読み、日本の位置を確認するところから始めたい。

<卒業論文・3年次>

3年次の演習では、財政の基本的な制度や国際比較分析の手法について、テキストを決め、輪読のかたちで進めたい。各回、資料を作成し、みんなで議論したい。

<卒論論文・4年次>

4年次では、卒業論文の進行状況を無理なく進められるよう、予定を立てて作成指導を行う。他に、就職活動用に、政治、経済トピックを取り上げて紹介する。

<卒業論文例>

自治体の財政分析、社会保障の研究、スウェーデンの年金制度、配偶者控除の研究など。

◆ **応募学生に対する希望**

まずは休まないこと。何が問題かを知りたい学生を望む。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：平常点および論文の内容によって評価

外国書研究Ⅰ：平常点で評価（出席状況、報告、議論への参加度など）

外国書研究Ⅱ：平常点で評価（出席状況、報告、議論への参加度など）

研究分野…財政と地方財政の国際比較研究

募集人数…10名程度

試験方法…身上書および面接

学科指定…無し

関連パッケージ…e 財政・金融系パッケージ g 行財政系パッケージ

関連科目…財政学、財政政策、地方財政論、公会計学

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

財政から社会を読み解く。

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

格差・貧困問題や経済・財政に関する英語文献を輪読する。日本や諸外国が抱える昨今の経済・財政問題を、国際比較の視点から理解することが目標である。最終的には外国書研究を通じて英語文献を読みこなし、卒業論文の作成にも活かせるようになることが狙いである。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

「財政とは何か?」「なぜ財政が必要なのか?」これらの問いについて、思考をめぐらしたことがある人は多くはないかもしれない。財政とは、この「社会」を支えるための「紐帯(ちゅうたい)」、いわば「絆」のようなものである。「私」一人では「社会」は変わらない/変えられない。しかし、「社会」に全くかかわらない人はいないし、そもそも「私」一人の力だけで、この「社会」で生き抜くことは難しい。もし財政が上手く機能しなかったら、「私たち」は、失業、貧困、病気などのリスクに怯え、不安定な市場の中で生きていかなければならない。だからこそ、財政について考えを巡らすことは、この巨大で掴みどころのない、漠然とした「社会」のあり様を知るきっかけとなるはずである。

このゼミでは財政の理論と制度を足がかりに、財政赤字、税金、年金、医療、介護、保育、地方財政、多文化共生など様々な財政・社会問題をマクロの視点から研究する。研究を通して日々の生活の中に隠れている問題から社会全体の問題を想像し、これからの社会を構想する力を身に付けることを目指す。

まずは、財政学の基礎知識を身につけるために、教科書や財政学研究の代表的な文献を輪読し、財政学の考え方を理解する。その上で、昨今の経済・財政問題に関わるテーマ(ベーシックインカム、消費税増税、財政赤字、税源偏在是正問題、保育園民営化など)を取り上げて、複数のグループに分かれてディスカッションを行う。ディスカッションを通じて、問題の構図を論理的・構造的に理解し、他者に伝える能力を養成する。後期はグループワークによる現地ヒアリング調査、『政経セミナー』への共同論文投稿、学部ゼミ発表会に取り組む。12月には立教・埼玉大学のゼミ、東京経済・専修・茨城大学のゼミとディスカッション大会を行う。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

卒業論文では財政・経済に係る制度・歴史分析、フィールドワークに関する研究を行う。毎回の授業で1~2名が研究報告を行い、学生同士で議論をする。4年生の昨年度の卒業論文テーマは、高速道路料金無償化/韓国の財閥と財政/社会心理と財政/関係人口と地方財政/洋上風力発電と財政/日本のeスポーツ/メタバースと財政/大阪市塾代補助金制度/ナースプラクティショナー制度の研究/フリーランスと税財政/大坂の教育/伝統的工業品産業と補助金/ハローワーク制度の課題/音楽産業と社会/家族介護支援/プロ野球球団とボールパーク化/生活保護制度の課題/デジタル課税の今後。12月には卒業論文発表会を他ゼミと共同開催する予定である。

## ◆ 応募学生に対する希望

本ゼミは学生の自主性を重んじています。ゼミの教員はあくまでその「場」を作る存在でしかありません。同じ目的を持った人たちが自ら目標を設定し、互いに学びあう場だと考えるからです。失敗を恐れず、新しいことに挑戦しようというモチベーションを持つ方、社会問題に義憤を持つ方、とにかく一生懸命勉強したい方を歓迎します。教員について知りたい人は個人HPを、ゼミについて知りたい人はゼミのSNSや「MEIJI NOW」の記事を参照してください。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：2年間の平常点、プレゼンテーション評価、卒業論文評価

外国書研究Ⅰ：春学期の平常点

外国書研究Ⅱ：秋学期の平常点

研究分野…財政学、地方財政論(税制・社会保障の国際比較、自治体の財政分析)

募集人数…15~17名程度(変更する場合もある)

試験方法…事前課題・身上書(指定様式)等の提出、対面面接試験の実施

学科指定…なし(担当教員は「財政政策」を担当。強制ではないが、履修することをオススメする)

関連パッケージ…e 財政・金融系、g 公行政系、h 地域コミュニティ系

関連科目…自治体経営論、地方財政論、財政学、財政政策

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

共通テーマ「ポリティカルエコノミー・グローバリゼーションと空間形成」に関連した個別研究テーマ。具体的には、日本を含む世界各地の都市圏やその周辺地域における空間利用形態とその経済及び制度的背景等に関するさまざまな個別テーマを予定。北米カナダや南米パラナ地域をはじめとしたいわゆる「新大陸」やアジア・ヨーロッパ諸地域の都市や地域問題についても、比較対照事例群としてあわせて取り組んでいきたい。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

このところ一貫して、"Globalization & Geography"を主要テーマとした論文集に取り組んでいる。それに関連した英語によるスピーチ・プレゼンテーションの練習も適宜、参加者の意向に即しながら行う予定である。パワポファイルを利用した個人プレゼンも行いたい。

<卒業論文・3年次・4年次>

上記個別研究テーマに関連した個別・グループ課題に関する調査 & 論文指導。

<卒業論文例>

『盆栽のまち大宮の成立と今後の展望』

『ウォーターフロントフロント開発の光と影・・・MM21と幕張新都心の現状から・・・』

『グローバリズムとデジタルディバイド問題・・・サブサハラ地域の事例から・・・』

『アーバン・ツーリズムの現状と課題』

『メディアによる観光戦略の効果と地域活性化・・・香川県の観光戦略をもとに・・・』

『地域創成とラジオの役割』

『J・ジェイコブスと中心市街地活性化問題』

『中東湾岸地域における都市・地域開発・・・カタールの事例に学ぶ・・・』

『地域に資する再生可能エネルギー・・・エネルギーの地域内自主管理とは・・・』

『地域における道の駅の役割と今後』

『愛媛県における温州みかん・中晩柑類の産地形成プロセス』

『コンテンツ・ツーリズムと新たな地域開発』

『賃金の地域不均衡とその要因に関する一考察』

『刑務所の立地論理に関する政治経済学的分析～公共的迷惑施設立地の変遷とその背景に関する考察～』

『カーボンニュートラル時代の天然ガス供給一本邦ガス事業者の挑戦』

◆ **応募学生に対する希望**

既存のデータだけでなく、現地での直接・間接の関連一次情報収集およびその分析も行うので、出来る限りオフ・キャンパス活動としてのフィールドワークやPC・ネットを利用した地道なデータ解析作業の双方を厭わない事。明晰な頭脳 & 軽快なフットワークを備えた総合力のある人が望ましい。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：卒業論文内容(60%・発表を含む)、取り組み姿勢・参加度(40%)

外国書研究Ⅰ：担当部分報告内容(60%・プレゼンテーションを含む)、参加度(40%)

外国書研究Ⅱ：担当部分報告内容(60%・プレゼンテーションを含む)、参加度(40%)

研究分野・・・ポリティカルエコノミーと空間形成、都市と地域の比較経済地誌学

募集人数・・・10名程度

試験方法・・・直接面接（ゼミ試験当日）

学科指定・・・学科を含め特に指定しない。

関連パッケージ・・・b 国際政治系、d 国際経済系、f 総合経済政策系、g 公行政系、  
h 地域コミュニティ系、i 産業社会系、l アメリカ文化系

関連科目・・・地域開発論、地域振興論、国際経済学、開発経済学、都市政策、アメリカ地域論  
(ラテンアメリカを含む) 等々

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

- 人間らしい仕事・暮らしとは何か？ 「生活者」の視点から政治経済のあり方を考える。
- 営利追求や競争を重視する市場経済とは異なる社会経済の可能性を探求する。
- 社会的排除問題の解決や地域づくりに取り組む協同組合の実践から学ぶ。

◆ **研究内容**

本ゼミナールでは、暴走する市場経済に対するオルタナティブとしての非営利・協同組織（協同組合、NPO・社会的企業）の調査研究を通して、上記の問いへの「答え（自分なりの生きる道）」を探求する。

## ＜外国書研究・原典研究＞

海外の協同組合やNPOの最新情報を中心に「いま世界で何が起きているのか!」、リアルな世界を肌で感じる。

## ＜卒業論文・3年次＞

春学期は、受講生の関心のある文献を題材に、とにかくディスカッション/ディベートをする。秋学期は自由論題報告を行う。これらと並行して、地域づくりに取り組む社会的企業のフィールド調査を行い、その成果は関西大学・立教大学・明治大学経営学部等の他ゼミとの研究交流会で報告する。

## ＜卒業論文・4年次＞

各自が関心のある社会問題（地域活性化・地域づくり/教育/若者の雇用/ジェンダー/子どもの貧困/障がい者支援/食糧問題等）の解決に取り組んでいる協同組合・NPO・社会的企業の実践について調べ、卒業論文としてまとめてもらう。

## ＜卒業論文例＞

地域づくりや非営利・協同組織と何らかの形で接点があれば、**テーマ設定は自由**。むしろ、テーマを決める（問いを立てる）ことが難しい。その生みの苦しみを体感してもらいたい。

◆ **応募学生に対する希望**

- ・ **社会問題**に関心のある学生、**社会教育やNPO・ボランティア活動**等に関心のある学生に向いている。逆に、社会のあり方に疑問を持たない、他人の話に興味のない学生には向かない。
- ・ ゼミでは一方通行の教育ではなく、教員を含めた**フラットな関係**と学生主体の**対話型の学び**を大切にしたい。よって、**仲間と話し合い、協同で行動することが好きな学生**に向いている。

◆ **成績評価方法**

卒論：報告内容と議論への参加度＋卒論のオリジナリティと完成度

外国書研究・原典研究Ⅰ・Ⅱ：報告内容と予習の状況＋議論への参加度

研究分野…協同組合、地域づくり、社会教育、NPO・社会的企業

募集人数…10～15名程度

試験方法…身上書とレポートに基づく面接

学科指定…なし \*例年、政治・地域行政・経済すべての学科の学生が在籍します。

関連パッケージ…f.総合経済政策系、i.産業社会系

関連科目…協同組合学（春学期集中）は必ず履修すること。併せて食料経済学履修を推奨。

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

本ゼミでは、金融制度と金融システムの国際比較を柱として、外国書研究と卒業論文作成を目指します。具体的には、①金融の基礎知識を身につけること、②こうした知識を使って、身の廻りの金融経済現象への理解を深めること、③日本と海外の金融システム等を比較することを通じて、海外への視野を広げること、④これらの取り組みを進める過程で社会人に求められる情報発信力やコミュニケーション力の素養を身につけることを狙いとします。

◆ **研究内容**

<外国書研究>

ゼミ生が関心を持った英字新聞記事等を通じて、通貨とは何か、技術革新によって通貨はどう変わるかといった大きなテーマを中心に、ディスカッションを行います。また、金融経済全般を巡る海外メディアや雑誌等を用いて、英文読解力の向上を目指します。必要に応じて、英語でのプレゼンテーションや意見交換の機会も設けます。

<卒業論文・3年次>

ゼミ生の理解度をみながら、国際金融やフィンテックの基礎の取得を目指したテキストや資料の輪読を行います。基本的には、ゼミ生による担当箇所の発表と討論形式で進めます。この過程では、プレゼンテーション資料の作成や発表の訓練を行います。また、他大学とのインゼミも実施します。

<卒業論文・4年次>

ゼミ生は3年次の終了時点までに、各自のテーマを選択し、それに関連する貨幣・金融制度、金融システム、金融政策等の知識を深めます。その上で4年次では、春学期半ばを目途に卒業論文テーマの最終設定を行い、その後はゼミでのプレゼンやゼミ生とのディスカッション等を通じて、卒業論文の完成を目指します。卒業時には、ゼミナール卒業論文集の刊行を目指します。

◆ **応募学生に対する希望**

ゼミは、ゼミ生同士や他のゼミ生とのネットワークの中で、アカデミックの面で互いに鍛えあうと共に、社会で求められる人間力の素養を磨く場です。このため、ゼミナール活動にコミットできる学生、ゼミの活動に積極的に貢献できる学生、プレゼン力の向上に意欲を持つ学生を歓迎します。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：テーマ設定、プレゼン内容、ディスカッションへの参加・貢献

外国書研究Ⅰ：プレゼン内容、ディスカッションへの参加・貢献

外国書研究Ⅱ：プレゼン内容、ディスカッションへの参加・貢献

研究分野…貨幣論、フィンテック、キャッシュレス、決済システム改革

募集人数…15名程度

試験方法…身上書に基づく面接

学科指定…なし

関連パッケージ…e 財政・金融系パッケージ

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

金融経済の理論・実証分析、世界経済の動向

## ◆ 研究内容

近年グローバル化が一層進展するなかで世界経済のみならずわが国経済を分析する上でも、国際金融論の理解なしにはできないといっても過言ではない。2008年の世界金融危機、欧州ソブリン危機、コロナ渦、ウクライナ危機など、現在注目されている世界の諸問題も国際金融論と大きく関連している。本ゼミは、現代の経済金融事象を分析するために現実からのアプローチを重視しつつ、理論、制度、歴史の視角を重視する。国際金融全般を扱うが、分析・関心の軸は常にわが国金融経済情勢にある。

理論と現実の双方を理解するために、毎回授業の最初に教員から注目されている時事項目について説明があり、Wall Street Journal 等の記事をもとに各自がPPT等でプレゼンテーションを行う。その後いくつかの論点についてグループ・ディスカッションを行う。プレゼンやディスカッションにより、報告や議論のスキルも習得する。これまでにFRBの金融政策、ESG投資、インフレ動向、石油・天然ガス価格の変化、スタートアップ、新興国経済などのテーマで議論を行った。

外国書講読では、Frederic. S. Mishkin (2017), *The Economics of Money, Banking, and Financial Markets*などをテキストとして、金融システム、金融政策、FRB制度などについて学ぶ。BISペーパー、IMFペーパー等も輪読し議論する。プロゼミでは、『ファイナンス入門』（放送大学教材）等を用いて、企業金融、財務諸表、リスクとリターンの計測など、金融市場のマクロ・ミクロの基本的理論を検討する。

サブゼミでは、4つ程度の小グループに分かれて自主研究を行う。研究成果は夏季合宿などでグループごとに発表し、「政経セミナー」に論文として掲載し10月の政経同窓会でも報告する。グループごとにISFJ日本政策学生会議や証券学生連盟証券ゼミナール大会などに参加する。ブルームバーグなどの見学なども機を見て行うが、これらはわが国金融資本市場、金融政策の理解を深めることが目的である。

## &lt;卒業論文例&gt;

「金融規制の現状と展望—ドッド・フランクリン法、バーゼルⅢ、TLACを中心に—」

「わが国証券市場活性化への課題」

「気候変動関連財務諸表の開示について—グリーンズワン」

「マレーシア経済の現状と課題」

## ◆ 応募学生に対する希望

好奇心の強い学生、積極的にゼミに関わる学生を望みます。文武両道の方を歓迎します。

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：演習授業への貢献度、サブゼミへの寄与度、報告内容

外国書研究Ⅰ：演習への貢献度、課題

外国書研究Ⅱ：演習への貢献度、課題

研究分野…国際金融関連事象の理論と実証分析

募集人数…15名程度

試験方法…筆記と面接（詳細は別途お知らせします）

学科指定…なし

関連パッケージ…d 国際経済系、e 財政・金融系、f 総合経済政策系

関連科目…金融論、国際経済学、経済政策原理、現代日本経済論、マクロ経済理論

◆ **ゼミナールの研究テーマ**

大企業、中堅企業、中小企業、ベンチャービジネスの経営革新と産業集積の活性化に関する実証的研究

◆ **研究内容**

<外国書研究>

先進諸国はじめ、経済成長・発展が著しい東アジア諸国でも、ベンチャー・中小企業が果たす機能と役割に対する期待が高い。そこで、企業のマネジメント手法及び企業家精神を学ぶために「WomenEntrepreneursONLY」を教材として利用する。

<卒業論文・3年次>

資本主義経済の成長と発展の過程は、そのスタートが異なることから、国や地域、産業分野ごとに異なっている。そのため、異質多元で多様な企業が存在する。そこで、中小企業を対象とした研究は、フィールドワークによる実態調査から、科学的方法論を駆使した実証分析や論理的な理論分析に至るまで、多種多様となる。また、中小企業を含む全ての企業経営は、人に深くかかわるため、人間学的心理学的な考察も必要となる。

具体的には、中小企業に関する文献と政府刊行物を利用して、中小企業の実態と課題を研究する。これと並行して、実証分析に必要な科学的な思考方法と分析方法の習得と、現地調査に基づく企業インタビューや工場等施設視察による研究活動を行う。

<卒論論文・4年次>

4年次では、3年次に習得した知識と技術を活用して、ゼミ員全員で中小企業や産業集積が抱える経営課題を共同研究のテーマとした卒業論文の執筆を行う。作成にあたっては、資料や統計からは判断できない実際の企業経営を探求するために、現地調査に基づく企業インタビューや工場等施設視察による研究活動を行うことで、実証的かつ独創的な論文作成を目指す。

<卒業論文例>

『産地企業の持続的発展に資する研究』

『持続的発展に資する中小宿泊業の生産性向上に関する研究』

『地方活性化に資する地域産業に関する研究—埼玉県秩父地域を事例として—』

『観光産業活性化に資する地域資源の活用』

『地場産業における中小製造業の持続的発展に関する研究～伝統的産地を中心として～』

『物流産業の効率化と新規事業の展開～トラック運送業を中心として～』

◆ **応募学生に対する希望**

共同作業による実態調査に基づく卒業論文の作成を行うので、協調性と責任感、真面目さと素直さがあり、最後まであきらめない忍耐力のある学生を望む。

◆ **成績評価方法**

卒業論文：課題図書に基づくレポート提出20%、発表実績20%、実態調査への貢献度20%、論文40%の総合点

外国書研究Ⅰ・Ⅱ：課題図書に基づくレポートの提出40%、発表実績60%

**研究分野**…ベンチャー・中小企業及び連携・組織化に関する理論的・実証的研究

発展途上国における中小企業の経済的機能と役割に関する研究

中小企業の経営革新と改善・ロジスティクスに関する実証的研究

中小企業による産業クラスターの活性化に関する実証的研究

**募集人数**…12名程度

**試験方法**…面接および筆記試験

**学科指定**…無し

**関連パッケージ**…総合経済政策系・産業社会系・社会学系・地域コミュニティ系

**関連科目**…中小企業論、地域産業論、地域政策論Ⅶ、地域政策論Ⅷ、協同組学、経済地理学、地域情報論、産業心理学、地方財政論、地域開発論

## ◆ ゼミナールの研究テーマ

地域活性化（都市・郊外・地方の持続的発展）と各地域・各分野の産業問題に関する実証的研究

## ◆ 研究内容

## &lt;外国書研究&gt;

国内外の都市・地域を選び、学生がその都市・地域のアンバサダー（Ambassador、大使）になったつもりで、関連する外書や海外 web を活用して資料を作成し、観光やビジネス誘致を目的としたシティセールス（都市・地域の魅力についての情報発信）のプレゼンテーションを実施する予定である。

並行して、外国文献を輪読する。今まで輪読した文献の例としては、地域と産業との新しい関係を示す Moretti, E. (2012) *The New Geography of Jobs*、政治学と経済学の両方を描く Hirschman, A. O. (1970) *Exit, Voice, and Loyalty* などがある。

## &lt;卒業論文・3年次&gt;

研究の基本は「文献調査」と「フィールドワーク」である。まず、地域産業に関連する文献研究によるディスカッション、経済センサスなどを用いた統計分析演習などにより研究の基本的技法を習得する。その後、地域に足を運び、地域産業、地域観光、地域産品のテストマーケティングなどをテーマとしたフィールドワークを行う。2017年度は北海道・十勝、2018年度は岐阜・飛騨高山、沖縄、2019年度は岡山・倉敷児島、長崎・五島列島、2020年度は大分・別府、2022年度は沖縄、2023年度はしまなみ海道などでフィールドワークを実施した。また、民間企業やNPOと連携した新しいまちづくりや上野動物園とのコラボなどを企画する。

## &lt;卒業論文・4年次&gt;

3年次の活動の中から執筆テーマを決め、論文を執筆する。論文は単独執筆でも共同執筆でも可とする。執筆の過程で学生の発表、およびそれに基づくグループ・ディスカッションを行う。必要に応じて、追加のフィールドワークを実施する。

## &lt;卒業論文例&gt;

地域産業・地域活性化に関する論文（「北海道十勝地域の食産業集積の課題」「沖縄における観光産業の経済効果と政策のあり方」など）

各分野の産業問題に関する論文（「日本のファッション産業の変遷と今後の方向」「AI（人工知能）が小規模小売店舗に与える影響」など）

## ◆ 応募学生に対する要望

フィールドワークを通じて社会人と付き合うための積極性、主体性、マナーはもちろん、ゼミ生は「一生の友」となるので、チームワークを大切に学生を望む。※学科指定なし（すべての学科可）

## ◆ 成績評価方法

卒業論文：発表、フィールドワークなどによる演習への貢献度50%、卒業論文・レポート50%

外国書研究Ⅰ：課題発表50%、発言などによる貢献度50%

外国書研究Ⅱ：課題発表50%、発言などによる貢献度50%

研究分野…地域産業・地域活性化（都市の競争力、郊外の再生、地方創生）に関する実証的研究  
各分野・各業種の産業問題、地域産業のグローバル化に関する実証的研究

募集人数…15～20名程度

試験方法…身上書の提出および面接

学科指定…なし

関連パッケージ…i 産業社会系、f 総合経済政策系、g 行財政系、h 地域コミュニティ系

関連科目…地域産業論、中小企業論、地域政策論、地域振興論、協同組合学、産業組織論、経済地理学